

三河知立移設駅南側の市道の認定について

問 山町26号線、27号線について説明を。

答 三河知立移設駅への南側のアプローチとして、26号線は国道1号線の御林の交差点から入り、突き当りに回転空地を設置、27号線は自転車歩行者道。

問 南側は駅の直近まで車で行けないのか。緊急車両も入れないのは問題では。

答 駅北側は直近まで車を着けることができる。そちら側を利用してほしい。

令和3年度一般会計補正予算

問 広報折込クーポン事業と電子クーポン事業の概要は。

答 コロナ禍における市内の消費喚起を図り、並びに市内の商業を支援するもの。商工会を窓口、取扱店舗を募集する。折込クーポンは広報ちりゅうの12月号に、500円券を6枚、合計3,000円分のクーポン付チラシを折り込む。1回1,000円以上の支払いで500円券を1枚使用できる。電子クーポンは知立市公式LINEアカウントの登録者に対して電子クーポンを配信。市内飲食店で800円以上利用すると400円の割引を受けられる。これによりLINEの登録者数を8,000件の増加を目指す。

問 学校のタブレット持ち帰り支援事業について、家庭にインターネット環境がなく、機器の貸与が必要な家庭の数は。

答 アンケートの結果、120世帯、全体の3%の家庭にWi-Fi環境がない。予備も含めて150台ルーターを購入したい。

問 これにより直ちにオンライン授業ができるようになるか。

答 課題の配信や提出、朝の会などで顔を見て健康観察をすることは可能になるが、オンライン授業を行うには、学校側の機材が不足している。研究したい。

問 個人市民税が大幅に増額となっているが要因は。税収が増えるのはよいが、全額を財政調整基金に積むのは問題では。

答 当初予算編成時には平成20年のリーマンショック並みの減少幅を予測していたが、調定の結果7億円の補正が可能となった。財政調整基金の適正額が標準財政規模の10%から15%。今回の増額で17億円となるが、適正の範囲と考える。

本会議質疑の様子は、YouTubeで観ることができます

1日目



2日目



令和2年度一般会計歳入歳出決算認定

問 公共施設のカーボン・マネジメント強化事業について説明を。

答 国の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用して、本庁舎、中央公民館、文化会館のLED照明化、空調設備の個別化等を実施。総合庁舎における削減見込みは、電気代で約20%、ガス代で約17%が削減でき、金額としては430万円。

問 知立市のCO2削減計画は。

答 知立市エコプランで2030年度までに2013年度比40%の削減を目標としている。

問 知立駅付近連続立体交差事業について、都市側の進捗状況は把握できるが、鉄道事業者側が把握できないのはなぜか。

答 昨年度までの記載は、その後数字に変更があり、混乱を招く結果となった。したがって、確定した金額のみを記載する方針とした結果。鉄道事業者側の令和2年度の事業費については把握していない。

問 都市計画道路知立南北線の進捗は。

答 駅周辺区画整理事業の北側の元国道1号線より北の200mに関する、公安委員会との協議図書の作成を行っている。

問 この道路は勾配がきついため改善を。

答 道路構造の規則では問題がないが、事実転倒したという情報もあるため、路面の材料を考慮して、安全を確保したい。

問 企業立地推進事業について、計画通りに包んでいないのはなぜか。

答 都市計画マスタープランに定めた産業促進地区のうち、八橋町東部に重点を置いてアンケートの結果を受けて個別訪問を予定していたが、コロナ禍で遅れている。引き続き取り組んでいく。

問 コロナワクチンの予約方法について、市による一括管理や接種ごとの予約など、独自の方法で実施したが評価は。

答 近隣市とは異なる方法で行ったが、市民の協力もあり順調に進んでいる。3回目の接種があった場合にも、関係機関と協議して進めていく。

問 児童発達支援センター知立市立ひまわり園の事業実績と今後の展望は。

答 4月から6月は、コロナ禍で実施できなかったが、利用登録者は増えている。現在の定員12名に対して利用登録者は22名のため、令和4年1月より定員を15名まで増やす計画。

